

毒キノコに要注意！！



例年、夏の終わりから秋にかけて、**毒キノコを食用キノコと誤認して採取、喫食したことによる食中毒が多く発生**しています。

令和4年も、ツキヨタケ、ドクササコ等の毒キノコの誤食による食中毒事例が報告されています。

食用と間違えやすい「毒キノコ」



ツキヨタケ

(写真提供/秋田森づくり活動サポートセンター)

秋にブナなどの枯れ木に群生。
カサは主に半円形で10~20cm程度と大きめ。厚みのある肉質が特徴的で、カサを割ると付け根付近の肉に黒っぽいシミがある。

【症状】嘔吐や下痢、腹痛などの中毒症状



ドクササコ

(写真提供/大作晃一)

秋に広葉樹林や竹やぶなどの地上に発生。カサの大きさは5~10cm程度の中型で、中央がくぼんでいる。柄は繊維質で縦に裂けやすい。

【症状】激痛を伴い手足の先端が赤く腫れ症状が続く

夏から秋にかけて、ブナやマツとの混生林などの地上に発生。カサの大きさは3~10cm程度で、乾燥時は光沢があり、成熟するとヒダはピンク色を帯びてくる。



クサウラベニタケ

(写真提供/千葉県立中央博物館)

【症状】嘔吐や下痢、腹痛などのほか、発汗なども

秋にブナ、コナラなどの雑木林や松林の地上に群生して発生。カサの大きさは3~8cm程度。湿っている時は粘性があり、葉や木くずなどが張り付いている。



カキシメジ

(写真提供/大阪市立自然史博物館)

【症状】頭痛を伴う嘔吐や下痢、腹痛などの症状

◆ 安全だと確認できないキノコは、



採らない！ 食べない！

売らない！ 人にあげない！



体調に異常を感じたら、直ちに医療機関を受診しましょう。

※農林水産省においても、野生キノコによる食中毒予防に関する情報を発信しています。詳しくは、こちらをご覧ください⇒

野生きのこによる食中毒を防ぐために

検索



令和5年度夏休み特別イベントを開催しました！

九州農政局では、国の仕事を知っていただき、この機会に親子のふれあいを深めてもらうため、国の出先機関など関係機関と連携し、[夏休み特別イベント「しゅとつと？国のお仕事～きなっせ！夏休み見学デー～」](#)を、熊本地方合同庁舎で開催しました。

8月2日・3日の2日間で、333名の方にご来場いただき、来場者からは「どのブースも優しく丁寧に教えていただき、親子で勉強になった。」などの感想をいただきました。



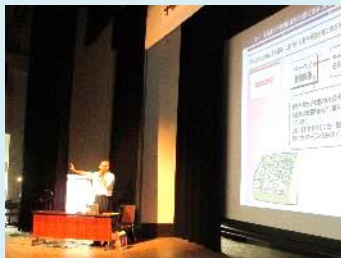
また、7月20日から8月31日まで、九州農政局のホームページ上にて「夏休みこどものページ [しゅとつと？国のお仕事](#)」を公開し、2,415名の方に閲覧いただきました。

7月～8月に行った出前講座を紹介します！

九州農政局では、移動消費者の部屋を開設し、食生活等に関する身近な情報の提供や農林水産省の取組などをお伝えしています。

鹿児島市中央公民館
R5. 7. 27

[鹿児島市立小・中学校の学校給食業務に従事する調理員及び栄養教諭等、約290名](#)の方を対象に、「食品表示」について制度やルール、監視と食品偽装の背景等の説明を行うとともに「食の安全」について情報提供しました。



JA佐賀中央会教育センター
R5. 8. 7

[未来さが農業塾生及び引率者約50名](#)を対象に、食品安全に関する情報提供と説明をするとともに、当局佐賀県拠点から「みどりの食料システム戦略」、特に環境に配慮した農産物の生産等について説明を行いました。



出前講座のご案内



九州農政局では、農林水産省が行う食品安全等に関する取組をご紹介するため、消費者の皆さんが開催する勉強会等に職員がお伺いしています。詳しくは、九州農政局のホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】
消費生活課 課長補佐（消費者対応）
TEL 096-300-6117(直通)



九州農政局 検索
出前講座



(お問い合わせ先)
農林水産省九州農政局消費・安全部消費生活課
〒862-8527 熊本市西区春日2-10-1
TEL 096-211-9111 (代) 内線4215

